



泉の子

令和8年7月23日

泉小学校

学校便り 第4号



夏休みだからこそ育みたいもの

校長 尾上 清

子供たちは、暑さに負けず元気に登校し、先週末の17日（金）に無事に1学期の終業式を迎えました。7月20日（月）には、平年より1日遅い「梅雨明け」が地方気象台から発表され、その後は晴れの暑い日が続き、いよいよ本格的な夏の暑さを迎えました。そして、子供たちにとっては、待ちに待った夏休みに入りました。夏休みをスタートして今日で6日目、子供たちはどのように過ごしているのでしょうか。夏休みがスタートしてからの数日、まずは1学期を終えてほっと一息、気持ちも体もゆったりとした時間が過ごせたことと思います。今日から残りの40日間の夏休み、この暑さと向き合いながら家族でどう過ごしていきますか。ぜひ御家庭で話し合ってください、前向きな気持ちをもって有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。

【終業式での校長の話を紹介します。】

今日で1学期が終わります。68日間の1学期でした。この1学期、校長先生は、学校中を回りながら、皆さんの頑張る姿をたくさん見ることができました。

特にうれしかったのは、「あたたかな学級」「あたたかな学校」をつくろうと、一人一人が力を合わせて取り組んでいたことです。

学級会では、「みんなが納得できるにはどうしたらよいだろう」と、友達の考えをしっかりと聴きながら話し合い、自分たちなりの答えを見つけようとしていました。1年生は1年生なりに、6年生は6年生なりに、どの学年も自分たちなりに一生懸命に取り組んでいました。

正解が一つではないことでも、相手の思いを大切にしながら話し合い、みんなが前向きになれる納得解を見つけようとする姿は、どのクラスも立派でした。

また、「自分たちの学級にはどんなルールが必要だろう」と考え、自分たちでルールをつくり、守ろうと努力している学級もありました。先生に言われるからではなく、自分たちの学級を自分たちでよりよくしていこうという気持ちが育ってきたことを、とてもうれしく思います。

そして、学級のみんなの仲がもっと深まるように、学級イベント活動や転校する友達との大切な思い出を作るお別れ会を企画し実践するなど、学級ごとに工夫して取り組む姿もたくさん見られました。そのどの学級にも、「みんなでよりよい学級をつくろう」という思いとあたたかさが感じられました。

特に6年生は、1年生を迎える会に始まり、運動会などの行事、委員会活動、ペア活動、交通安全リーダーとしての取り組みなど、大忙しの中、学校のために仲間と協力して真剣に取り組んできましたね。その姿に最上級生らしさが出ていました。

1学期の最後に企画した「夏祭り」は、どの学級も1年生のことを大切に思う気持ちがたっぷり詰まった活動でした。まさに、「あたたかな学校」の実現に向けて、アイデアを出し合って前向きに取り組むリーダーとしての姿がそこにありました。

相手のことを考えて行動することは、「あたたかな学校づくり」につながる大切な力です。

どの学級にもうまういかなかったことや意見がぶつかったことがあったと思います。でも、それを乗り越えようと話し合ったり、相手の気持ちを考えたりした経験こそが、みなさんを成長させてくれたと思います。

1学期の68日間、無駄な日は一日もありません。その一日一日があなたを成長させてくれたからです。皆さん、よく頑張りました。

さて、明日からは夏休みです。45日間という長い夏休みです。

夏休みは、自分の好きなことに挑戦したり、家族との時間を大切にしたり、普段できない体験をしたりできる貴重な時間です。その貴重な時間を無駄にしないために、2つのアドバイスをします。

①続けること

朝のあいさつ、ありがたい言葉、お手伝い、15分間読書など、続けてできそうなことなら何でもいいです。

②夏休みだからこそできることに挑戦

厚い本を読む、長い距離を走る、夕ご飯をつくる、プラモデルやパズルを完成させるなど、ちょっと難しそうだけど、やってみたいことに挑戦です。

ぜひ、「やってみよう」という気持ちを大切に、この2つのチャレンジをしてみてください。その頑張りが、必ず2学期につながるはずです。

そして、命を大切に、健康と安全に気を付けて、元気に過ごしてください。

9月1日、また元気で素敵な笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

【夏休みだからこそ育みたいもの】

この1学期、子供たちは学習だけでなく、学級づくりや友達との関わりを通して、多くのことを学びました。思い通りにいかず悩んだこと、友達と意見を交わしながら折り合いをつけたこと、誰かのために力を尽くしたこと…。そうした一つ一つの経験が、子供たちを大きく成長させてくれました。

今、社会はかつてない速さで変化しています。AIをはじめとする技術の進歩により、知識を得ることは以前よりも容易になりました。便利で豊かな時代になった一方で、教育に携わる者として強く感じるのは、「人としてどう生きるか」という問いの重みが、これまで以上に増しているということです。

どれほど時代が変わっても、人は人とのかわりの中で育ちます。人を思いやる心、自分とは異なる考えに耳を傾ける姿勢、失敗してももう一度挑戦するたくましさ、自分が誰かの役に立てたという喜び。こうした力は、画面の中だけでは育ちません。人と向き合い、言葉を交わし、心を通わせる経験の積み重ねによって育まれていくものです。

学校は、そのような学びの場でありたいと願っています。しかし、子供の成長を支える土台は、やはり家庭にあります。家族に見守られ、認められ、安心して過ごせる場所があるからこそ、子供は学校で挑戦する勇気を持ち、失敗から立ち上がる力を身に付けていけるのです。

夏休みは、その家庭という土台をより豊かにできる、かけがえのない時間です。遠くへ出かけることだけが大切なわけではありません。一緒に食卓を囲むこと、家事を分担すること、地域の行事に参加すること、夕暮れに散歩をしながら語り合うこと…、そんな何気ない時間こそが、子供たちの心を満たし、「自分は大切にされている」という実感につながります。

教育は、学校だけでも家庭だけでも成り立ちません。学校と家庭が同じ願いを持ち、それぞれの役割を果たしながら子供の成長を支えることで、その力は何倍にも大きくなります。本校が大切にしている「あたたかなかわり」「あたたかな学び合い」の根底にも、一人一人が安心して自分らしく育つことへの願いがあります。

時代は、大きく変化しています。しかし、どのような時代になっても、人は人とのあたたかなかわりの中で育ちます。その原点は家庭にあり、学校はその歩みをともに支える存在でありたいと願っています。

この夏休み、是非お子さん一人一人の心に豊かな思い出と成長の種をまいてください。そして、御家族にとって心の距離をさらに近づける時間を過ごし、お子さんが「大切にされている」「家族っていいな」と感じられる夏休みとなることを願っています。そして2学期、一回りたくましく、優しく成長した子供たちと元気に再会できることを、教職員一同、心から楽しみにしています。

(※ 学校の活動の様子は、ブログや「いずみっこ応援団!!」をぜひ御覧ください。)

【夏休み期間中の連絡】

夏休み期間中に、大きなけが、入院、災害による損壊等があった場合は、学校へ御連絡ください。

泉小学校 472-5228

(時間 8:00~16:15 週休日、閉庁日を除く)

【閉庁日のお知らせ】

本校では、教職員の心身のリフレッシュと休暇取得促進を図るため、本年度も夏季休業期間において「学校閉庁日」を設けることといたしましたので、御理解、御協力をよろしくお願いします。

学校閉庁日：令和8年8月12日(水)～14日(金) 3日間

閉庁期間の日中における緊急時の連絡は、浜松市教育委員会教育総務課まで御連絡ください。連絡後、学校や校長・教頭に連絡が行きます。

教育総務課 457-2401

(時間 8:30~17:15 週休日を除く)

